

令和2年 12月定例会 市長提案説明

12月定例会の開催に当たりまして、所信の一端を申し上げますとともに、今議会に提案いたしました議案の概要につきまして、ご説明申し上げます。

先月の岡崎市長選挙において、市民の皆様方のご信託をいただき、市長に就任してから1か月あまりが経過しました。先般の11月臨時会においては、提案いたしました議案の大半が否決という結果となりましたが、この過程において、貴重なご意見をいただき、お互い真摯な議論を交わすことができたことと改めて感じております。このように市民の代表である両者が議論を重ね、同じ目標に向かうことで、新たな岡崎市への一歩を踏み出せるものと信じております。

選挙の際に掲げました公約につきましては、今すぐに着手できるものから、実現に向けて中長期的な視点で行うもの、様々であります。私は、市民の皆様との約束を着実に実施できるよう、市民参加型、当事者参加型市政に向けて、誠意を持って取り組む覚悟であります。

本日から始まる本定例会においても忌憚ないご意見を賜り、岡崎市政をより良くするため、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

はじめに、本市の新型コロナウイルス感染症対策についてであります。

新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中、日々医療の最前線で感染リスクを抱えながら命と健康を守る医療行為にご尽力いただいております医療従事者や感染症対策に従事される皆様に、心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

季節性インフルエンザの流行期に入り、新型コロナウイルス感染症の患者が再び増加してきました。11月には本市においても高齢者施設・学校等での陽性者の発生があったため、積極的疫学調査を実施し、感染拡大防止に努めているところであります。

この感染症はインフルエンザとの区別が難しいため、発熱等の症状のある方が身近な「かかりつけ医」で相談し、必要な診察・検査ができるよう、国・県の方針に沿って医療提供体制の整備を進め、市内82の医療機関が診療・検査医療機関の指定を受けております。

特定の医療機関に患者が集中して診療体制が麻痺することを防ぐため、医療機関名は非公表を選択する医療機関が多いですが、何らかの症状があり、かかりつけ医を持たない方は「受診・相談センター」までご相談いただければ、診療・検査可能な医療機関をご紹介します。年末年始につきましても、しっかり対応してまいりますので、ご安心ください。

なお、世界中で新型コロナウイルスのワクチン開発が進められ、治験で成功を収めたとの報告があり、明るい兆しが見えてまいりました。国からの指示に従い、ワクチン接種が可能となり次第、早期に実施出来る体制づくりに必要な補正予算を本議会でお願ひさせていただきます。

ワクチン接種が出来るようになるまでは、各個人でできる予防対策が重要となりますので、引き続き市民の皆様には、「身体的距離の確保」、「手指の消毒」、「マスクの着用」などの適切な行動、感染予防対策の徹底にご協力いただきますようお願いいたします。

また、市民の皆様におかれましては、国、県、市などの公的機関が発信する正確な情報に基づき、冷静に行動していただきますとともに、新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性がありますので、医療関係者の方々に対してはもとより、新型コロナウイルスに感染された方々やそのご家族等に対しましても、決して差別や誹謗中傷がなきよう、重ねてお願いさせていただきます。

次に、水道事業についてであります。水は命の源と申しますように、私たちは当たり前のように水を飲んで暮らしております。そして、その飲み水の多くは、水道水として供給されておりますが、高度経済成長期に整備された水道施設が更新時期を迎えるなか、人口減少や節水機器の普及による料金収入の減少により、全国的には、経営が困難となる水道事業者が増えていると聞いております。

その対策の一つとして、平成 30 年、水道施設運営権を民間事業者に設定する方式、いわゆるコンセッション方式につきまして、水道法が改正されたところであります。

しかしながら、本市の水道水については、行政が責任を持って供給する必要があると私は考えておりまして、去る 11 月 4 日、「水道事業にコンセッションを導入しない宣言」を厚生労働省に申し入れを行いました。

この件につきましては、厚生労働省からも文書で、岡崎市に「コンセッションの導入を働きかける予定は今後ありません」とのご回答をいただいております。

また、八丁味噌の地理的表示保護制度、いわゆる、GI の問題については、多くの市民の皆様にご心配をお掛けしているところでありますが、同じく 11 月 4 日、農林水産省に対し、早期の問題解決などの申し入れを行いました。

今後も、江戸時代初期から伝統製法を守り続ける岡崎の財産である八丁味噌が、今後も誇りをもって作り続けられるよう、八丁味噌協同組合と共に、粘り強く取り組んでまいります。

それでは、本議会に提案いたしております議案について説明させていただきます。

まず、条例議案であります。こちらは全て改正条例でありまして、令和 3 年度からの新区画の供用開始にあたり、岡崎墓園の管理料に関する規定を改める「岡崎市墓園条例の一部改正」、現在、集約による建替事業を行っております市営住宅「ひばり荘、陣場荘、大池荘及び大平荘」について、新住宅の名称等を定める「岡崎市市営住宅条例の一部改正」、高等教育の修学支援新制度の適用校になったことに伴いまして、免除等の対象となる費用を追加する「岡崎市立看護専門学校条例の一部改正」など 8 件であります。

次に、その他議案につきましては、「公の施設に係る指定管理者の指定」としまして、指

定期間が満了する施設の次の指定管理者を定めるものが10件、今回、新たに指定するものが3件となっております。さらに、市営住宅平地荘の新築工事など「工事請負の契約」が4件と、そのほかに1件ございまして、合わせて18件を提案させていただいております。

続きまして、補正予算議案であります。

一般会計の補正は1億453万3千円の減額、特別会計は1億7,978万7千円の増額、企業会計は5億6,219万5千円の減額補正をお願いしております。

まず人件費に関しまして、一般・特別・企業会計を通じまして、国家公務員の給与改定に準じた、職員給与の改定及び人事異動に伴う職員給与費の補正をお願いしております。

一般会計の主なものとしましては、

議会費は、議場の音響映像設備改修工事請負費の計上、

民生費は、介護老人福祉施設整備の延期又は公募不調による事業費補助金の減額、

衛生費は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による救急医療体制運営費補助金の増額、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に備えた行政検査委託料の増額、県が高齢者のワクチン接種に係る自己負担分の助成を決定したことによるインフルエンザ予防接種委託料の増額、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などに伴う患者の減少により、救急医療や周産期センターの収支不足の増加などによる、病院事業会計負担金の増額、

商工費は、事業の完了による新型コロナウイルス感染症対策協力金の減額、

土木費は、借地契約期間の満了による「なのはな公園」に係る土地購入費の計上、

教育費は、小中学校での新型コロナウイルス感染症対策用備品の購入費を増額するものなどであります。

次に、繰越明許費であります。議場改修事業始め8事業につきまして、それぞれ年度内完了が見込まれないことから、繰越しをお願いしております。

また、債務負担行為につきましては、新型コロナウイルス感染症予防接種に要する経費を始め51件の事項につきまして、それぞれ令和3年度当初予算に先立ち契約を早期に進めるため、債務負担行為の追加をお願いしております。

最後に、企業会計であります。病院事業では、投薬や注射薬品費が当初の見込みを上回ったことによる増額のほか、愛知県が新型コロナウイルス感染症専門病院を開設することに伴い、市立愛知病院を廃止したことによる減額補正等をするものであります。

以上が、本議会に提案をいたしました議案の大要であります。

さて、本市では、これまで蓄積してきた、ICT教育の実践ノウハウを生かし、さらに、岡崎の教育の質を高める機会として捉え、全国的にも、先進的な取り組みと言える、「岡崎版GIGAスクール構想」を推進してまいりました。

この2学期の始業式からは、小学校6年生から中学校3年生にタブレット型端末を配備し、既に「Myタブレット」での学びをスタートさせています。

また、「岡崎版GIGAスクール構想」では段階的な整備により、10月には小学校4年・5年生、12月中には小学校1年生からの全児童・生徒に一人一台の環境が整う予定であります。現在、実践の進んでいる中学校では、ほぼ全ての授業で「Myタブレット」の出番がある状況が生まれています。瞬時に自分の意見や感想が共有され、友達からの反応もあるため、授業への参加度が高まり、先生方も手ごたえを感じていると伺っております。

続きまして、「30人学級実施検討会議」についてであります。市議会の皆様には、11月臨時会におきまして、岡崎市附属機関設置条例を一部改正し、「30人学級実施検討会議」を実施することについてご理解を賜りました。この場をお借りしまして、お礼申し上げます。

30人学級の必要性については、コロナ禍におきまして、昨年まで当たり前だった授業や学校行事が通常通り行われず、子どもたちの心や体、学習面に大きな負担がかかっていることと思います。まず、その子どもたちに寄り添うということ、そして先生方のご負担を少しでも軽減させていただこうとすることに意義があると考えています。

また、本市では、「岡崎版GIGAスクール構想」の実現とあわせ、30人学級の実現は、より先生方の目が子どもたちに行き届き、「誰もが取り残されない」という個別最適化された学習が可能になると考えております。

最後となりますが、今後も山積する課題がありますが、議員各位の一層のご理解、お力添えを心からお願い申し上げますとともに、提出をいたしております諸議案につきまして、よろしくご審議の上、ご議決を賜りますようお願い申し上げます、説明を終えさせていただきます。

ありがとうございました。